



1 山形県図書館協議会委員の意見

【リニューアルした図書館の魅力を伝える企画展示やイベント等の継続的な開催】

- 県立図書館の認知度向上、来館者増に資するイベント等が必要
 - ⇒ 魅力あるイベントの開催を期待する。また、図書館に縁のない方が、足を運びたくなるようなイベントも検討頂きたい。
 - ⇒ 県立図書館の主流を外さないことや人的資源にも配慮した上で、イベントのあり方を整理頂きたい。

【県立図書館の特性や役割を踏まえた県内図書館への支援の充実】

- 規模の小さい市町村への支援が必要
 - ⇒ 町村部、小規模な市は、日常的に豊富な図書に触れる機会が少ない。そうしたところへの支援に力を入れて頂きたい。

【インターネットによる情報発信の更なる強化】

- 閲覧状況の把握・検証を踏まえた戦略的な情報発信が重要
 - ⇒ Google アナリティクス等のツールを活用した閲覧行動分析をして頂きたい。
- ターゲットを絞った情報発信が必要
 - ⇒ Instagram のフォロワー数が少ない。目標値の設定やリール動画の活用等によるフォロワー数を増やす試みが必要ではないか。

【非来館型サービスの周知広報と利便性向上】

- 非来館型サービスの更なる広報・周知が必要
 - ⇒ 県立図書館の魅力は、非来館型サービスが充実していること。一方、知らない方もまだまだ多い。

【貴重資料のデジタル化による長期保存対策と利活用の推進】

- 地域資料等のデジタル化の推進が必要
 - ⇒ 一般的な資料のデジタル化は、国立国会図書館が進めている。地域の公立図書館では、地域資料をデジタル化するのが役割である。
 - ⇒ 再生機器が無くなる前に、DVDやビデオテープ等の視聴覚資料のデジタル化を進めて頂きたい。

【オンラインデータベースの活用の推進】

- 国会図書館が運営する「ジャパンサーチ」との連携強化が必要
 - ⇒ ジャパンサーチは、ギガスクールでも活用されている。ジャパンサーチに郷土資料を提供頂きたい。
 - ⇒ ジャパンサーチに提供する際は、可能な範囲で著作権の制限がない形での提供を検討頂きたい。

【電子書籍サービスの検討】

- 電子書籍サービスの推進等
 - ⇒ 電子書籍サービスが多くの方に利用されるようにして頂くことを期待している。読書バリアフリーの推進にも有効と考える。
 - ⇒ 読書離れが進んでいると感じている。子どもたち等の読書の機会を増やす意味でも電子書籍サービスも充実して頂きたい。

【県民や団体等との連携・協働によるサービスの充実】

- 図書館運営協力サポーターに継続して活動頂くための環境整備
 - ⇒ サポーターの満足度・ニーズを外さないことが大事である。事務局側のコーディネートが重要である。

2 県内市町村立図書館（室）からの意見・要望

【全世代の県民の学びと希望の実現を支援する資料の充実】

●資料購入に係る県立図書館の役割

⇒県立図書館における資料購入では、市町村立図書館では高額なため購入が難しい専門性・学術性の高い図書を選定してほしい。

【県内図書館を支える職員等の研修の充実】

●図書館職員に対する専門研修の実施

⇒図書館職員として、必要な知識・技術に関して、専門性の高い研修を受ける機会確保を引き続きお願いしたい。

【非来館型サービスの周知広報と利便性向上】

●インターネット利用登録申請・予約貸出

⇒県立図書館ホームページから利用できるインターネットによる利用登録申請及びインターネットによる予約貸出サービスについて、広報が不十分と思われるため、利用促進を図ってほしい。

【電子書籍サービスの検討】

●電子書籍サービスの推進等

⇒将来的には電子書籍サービスの導入も検討している。県立図書館の利用状況や他県の動向等（広域展開等）の情報提供をお願いしたい。

⇒庄内地域などの遠隔地の県民にとっては、電子書籍サービスは県立図書館の利用登録のきっかけになると感じる。一方、まだまだ書籍数が少ないと感じる。利用拡大に向けて、電子書籍をもっと増やしてほしい。

3 山形県立図書館利用者アンケートの状況

【資料の充実】

●郷土資料の収集等

⇒郷土資料は市町村図書館には所蔵がなく、県立図書館のみ所蔵というものも多いことから、今後更なる充実を望む。

⇒調査・研究を行う際に、館外への貸出を可能にしてほしい。

●児童書の充実

⇒幼児・子ども用の絵本等（海外の絵本含む）を充実してほしい。

●専門書・実用書等の充実

⇒専門書等が多く調べ物に適しているが、政治・経済・IT関係の資料はできる限り新しいものを望む。

【図書館利用関係】

●地域交流の場

⇒リニューアル後、明るく過ごしやすい雰囲気になり、イベント開催などにより地域の交流の場としての機能が期待できる。

●非来館型利用

⇒インターネット予約による遠方からの借入も可能であることについて、もっと広報等をしっかり行い、利用を推進してほしいか。併せて電子書籍サービスの充実・利用促進も進めてほしい。

●多様な方への対応

⇒障がいのある方や外国の方など、様々な方に開かれた図書館となるよう望む（案内表示の工夫や大きな活字本の充実など）。

●ホームページの利便性

⇒ホームページ（特にスマートフォン版）の使い勝手を良くしてほしい。